

全体会午後の部 I

司会者 それでは定刻がきたので着席してください。ただ今より、全体会午後の部 I を行いたいと思います。午後の部 I の司会を担当させていただきます応神中学校 3 年の n, 応神中学校 3 年の o です。よろしくお願いいたします。午後の部は、午前の I と後半の II の 2 部構成になっています。最初に意見発表を 3 本していただき、その内容を通して、みんなで人権について語り合い、みんなで本当の笑顔輝かせていきたいと思いますので、みなさん、どうぞ協力よろしくお願いいたします。まずは前半 1 本目の発表です。板野中学校 3 年、吉本朱里さん、「人権について学ぶ意味」です。よろしくお願いいたします。

人権について学ぶ意味

板野中学校 3 年 吉本朱里

私達は何のために、人権について学習を続けているのでしょうか。小学一年生から続く人権学習の意味とは、何だと思えますか。

あるとき、学校で「自分以下を求める心」について学習しました。「自分以下を求める心」とは、自分よりも成績が良くない人や運動が苦手な人などを下に見てしまうことです。「あの人よりはマシだから大丈夫だよ。」そう思って安心しようとしたことはありますか。そう先生に問われました。

私はあります。テストの点が低かったときに勉強が苦手な友人の点を聞いて、思わずほっとしてしまっただけがありました。今思い返してみると、あのとき私は自分の友人を差別していたんだな、と分かります。本当にひどいことをしてし

まいりました。

先生は私の返答を聴くと、周囲の全員に向かってこう言いました。「先生は、人間は誰しも、差別の加害者になってしまう危険性をもっているんだと思う。私達が人権学習を続ける理由の一つはそこにある。差別をしないためには、実際に差別に出合ったとき、自分が差別してしまいそうになったときに、それを見過ごさず気付ける力をつけるしかない。私達は、人権学習によって、どんなことが人を傷つけるのか、どうすればそれをなくせるのかを考え、少しずつ差別に気付けるようになっていくんだ。」



この言葉に私は強く共感しました。人権学習をする理由を深く考えたことはそれまでなかったのですが、友人を成績で見下してしまった私は、【差別の加害者にならないため】という考えがその通りだと思えたのです。

それから私は、人権学習をすることに他の理由はあるのだろうか疑問に思い、自分で考えるようになりました。

私が友人に、昔いじめられた経験があると告白されたのは、ちょうどその頃でした。その話によると、辛い日々が続いた友人は人間不信に陥り、自らを傷つけるようになったそうです。最後には自殺も考えたそうですが、それを知った別の友人や先生に止められて、今では元気に

毎日を過ごしています。

彼女の元気な姿しか知らなかった私は、今の姿からは想像もつかない過去にとっても驚きました。そして同時に、ずっと考えていた疑問の私なりの答えを見つけました。

私達はなぜ人権学習をするのか。そのもう一つの理由は、「仲間を増やし、差別から身を守るため」です。仲間というのは、人権について共に学び考えてきた、互いに尊重し合える人のことです。私の友人は、そんな仲間がいたから、今元気でいられるのだと思います。私自身も、いじめに遭ったわけではありませんが、辛いことがあったときには、そんな仲間の存在が私を支えてくれます。信頼できる仲間は、差別から人の命を救う存在だと私は思います。差別をしないため、仲間と支え合うため。人権学習の意味について考えて、私はこの二つを見つけることができました。そして、これらを見比べているうちに、ふとあることに気が付きました。なぜ人権学習をするのか。それは言い換えれば、人権学習をするとどんな良いことがあるのか、ということでもあります。つまり、人権学習を通して人は、差別をしなくなることができ、さらには、信じ合える仲間をつくり、支え合うことだってできるようになるのです。

想像してみてください。世界中の人々が、差別によって互いを傷つけることなく支え合って生きる世の中を。私は、それが、人権学習の先にある理想の未来なのだと思います。それでは、理想により近づくために、私達は何をすればよいのでしょうか。いろいろな方法があると思いますが、私は、「学び、考えて、広げる」ことが一番だと考えます。最初に、人権について学ぶことで土台となる知識を蓄

えていきます。次に、その学習したことを自分のこととしてとらえ考えることで理解を深めます。それから、分かったことや自分なりの考えを周囲の人に広げていくのです。この方法で、まずは身近なところから差別をなくす努力をすることが大切です。私も、どんどん実践していこうと思います。

人権について学ぶ意味は、まだ他にも、たくさん考えることができると思います。そして、人権学習が私達の生活をより良いものにしてくれることは間違いありません。だから、私はこれからもずっと、人権学習を続けていきます。ご静聴ありがとうございました。

司会者 ありがとうございます。どうぞ元の席に戻ってください。続いて、前半2本目の意見発表です。藍住中学校1年、高田智華さん、「一人一人を大切に作るクラスに」です。よろしくお願ひします。

一人一人を大切に作るクラスに

藍住中学校 1年 高田智華

私には、大切な人がたくさんいます。仲良しの友達、家族やクラスメイト、私はいつもたくさん大切な人と一緒に、笑顔に囲まれて暮らしています。だけど、時々このたくさんみんなの笑顔が失われることがあります。だれにだって、得意なことと、苦手なことがあります。勉強が得意な子や苦手な子、運動が得意な子や苦手な子、いろいろな子がいます。私自身も、苦手なことがたくさんあります。

最初は少し嫌だなと思っていたけれど、これも私なんだなと思うと、なんだか気持ちがスッキリします。それに、これはあたり前のことだと思っています。それが一人一人の個性だったり、いいところ

だったりもします。一人一人違うからこそ、毎日楽しく過ごせているのだと、私は思います。

もし、それをバカにしたり、からかったりするのとは、とてもはずかしいことだと思ひ、決してしてはいけないことだと思ひます。私は、中学生になって、初めてクラスメイト全員で一丸となって取り組んだ体育祭で、一人の子が言った言葉が今でもずっと心の中にひっかかっています。「あー。次は〇〇かー。もうあかんわー。おっそいなー。さっさと走れ。」と、言ったのです。



私は自分の耳を疑いました。みんなが必死に応援している中、私は思わず、応援の声を止めてしまいました。これは、私だけかも知れませんが、何だか辺りの空気が凍りついたように寒気がしました。「えっ！何でそんなことを大声で〇〇さんに聞こえるようにいうの？」私はその子に聞きそうになりました。びっくりしました。教室にいたときは、みんなでいろんな約束をしました。その約束の中にも、「どんなことがあっても、決してだれも責めたりはしない。」というのがありました。

私もみんなも、そのときは「うん、そうしような。」「絶対そんなん言わんところな。」「もし言ってる子がいたら、注意しような。」など、みんなが真剣な顔で言って

いました。私もそのときは、そう思っていました。けれど、その子は〇〇さんを責めました。一生懸命汗を流して走っていく〇〇さんを見ていると心が悲しみであふれ、痛みました。「おっそいなー。おっそいなー。」ズキ、ズキ、私の心にその言葉がささっていきました。「もうやめようよ。」私は心の中で叫びました。でもそれはだれの心にも届きませんでした。ほんの少しの勇気をだして、声にだして言うことができませんでした。

私も同罪です。私は、この後、数日後に行われた、全体学習、学年全体で取り組む人権学習で、勇気をふりしぼってよく似た話をしました。いつもなら、だまって周りの人が話しているのを、聞いているだけだけど、その日は、私がみんなに話を聞いてもらいました。

マイクを受けとると、重みを感じました。きっと、このマイクにはみんなの気持ちがたくさんつまっているんだと思いました。私はその時、このマイクに私の気持ちも届くといいなと思いました。

けれど、いざとなると体が凍ったみたいに動かなくなりました。でも、周りの子たちからの温かい言葉にほぐされ、気持ちが楽になりました。

バクバクしている心臓も深呼吸をして落ち着かせました。もう一度、大きく息を吸った後、ゆっくりと話し始めました。みんなの視線がこちらへ向いているのがわかると、声が震えました。こんなに大勢の人の視線が私に向くのは初めてでした。体からは冷や汗がでました。

周りの子たちが、やさしいまなざしで、大丈夫と言ってくれているのがわかると、安心して、次から次へと、言葉が出てきました。私は、自分の言葉で自分の思いを伝えることができました。少し自分が成長したように思えました。とって

もうれしかったです。私の発表を聞いて、先生の間からは、涙が流れていました。みんなは、温かい拍手をしてくれました。私は伝えきれないほどの感謝の気持ちを持ちました。

全体学習が終わった後、みんなが「よかったよ。」「めっちゃ感動したよ。」と、言ってくれました。私は、目の奥が熱くなりました。心が温かくなりました。こんなに大切な人が、私のすぐそばにいてくれる、そう思うと、私はなんて幸せなんだろうと思いました。もし、これから先このクラスでこのようなことが起こってしまったときは、自分の言葉ではっきりと注意ができるようにしたいです。そして、これからも仲間をずっとずっと大切にしていきます。ご静聴ありがとうございました。

司会者 ありがとうございました。どうぞ元の席に戻ってください。続いて、前半3本目の意見発表です。応神中学校2年、廣永帆乃香さん、「命と平和の大切さ」です。よろしくをお願いします。

命と平和の大切さ

応神中学校2年 廣永帆乃香

みなさんは、自分の命を大切にしていますか？私は1年生の時から、人権について学んだり、考えたりしてきました。最初は、「部落差別って何だろう？」というところから始まりました。その時は、あまり人権のことも分からず、興味もありませんでした。でも、道徳の時間などで先生の話の聞いたり、中学生友の会でみんなで人権について話をしたりしているうちに、人権のことも少しずつですが分かってきたし、人権に興味がわいてきました。

2年生になってからは、命や平和、家

族のことについて学んできました。いろんなDVDも観ました。「集団自決」「夕風の街・桜の国」「なでしこ隊」「さとうきび畑の唄」などです。「なでしこ隊」は、特攻隊がテーマでした。「夕風の街・桜の国」は、広島原爆がテーマでした。「集団自決」と「さとうきび畑の唄」は、沖縄戦がテーマでした。



私たちはこの5月、沖縄に修学旅行に行きました。学習もして分かっているつもりで行ったけど、想像した以上に悲しい現実がありました。戦争中にあった生々しい体験の話の聞いたり、資料館では日記を読んだりもしました。すごく心が痛かったです。ガマの中でガイドさんの話も聞きました。一番心に残っている言葉があります。「戦争は人が始めるけど、戦争を止めることができるのも人」という言葉です。みなさんはこの言葉を聞いてどう思いますか？私は、言葉の通りだと思います。でも私は正直、この時代じゃなくて、今の時代に生まれてきて良かったと思っていました。でも、資料館やガマで話を聞いて、「自分たちはこんなに自由に生きていいのか」「亡くなった人たちに自分はどのように生きている」と、堂々と言えるのか考えてみました。みなさんも、同じようなことを考えたことはありませんか？先生は言っていました。

「生まれた時代が違うからといって、

片方はラッキー、もう片方はアンラッキーでは納得いかない。」それを聞いて、私は共感しました。今は平和だし、戦争もないけど、昔は戦争があって、何の罪もない人が命を奪われて……。昔の人たちも、平和な時代に生まれてきたかっただけです。今はケンカとかしたら、普通に「死ね」とか言ったり、自殺をしたりするけど、昔の人は生きてくても生きられなかった人が、数えきれないぐらいにたくさんいたということ、私たちは、忘れてはいけないと思うのです。

それと、これは言葉を変えれば、「生まれた所が違うからといって、片方はラッキー、もう片方はアンラッキーでは納得いかない。」ということになり、これは1年生の初めに学んだ部落差別と同じです。生まれた時代や生まれた所が違って、人は自分の思うように生きていくことが普通だと私は思います。

DVDには、戦争で命を奪われ、家族がいなくなった場面が、どのDVDにも出てきました。家族を亡くした人たちはいったいどんな気持ちでいたのか…。私のクラスは、この「家族」をテーマに語り合うことにしました。「自分を語る」「自分の中にある本当の思いを語り合う」これが、私たちがずっとしてきた、人権学習の方針でした。手を挙げて、みんなの前で自分の家族のことについての発表が始まりました。友達の知らなかった一面が分かってきました。長い子だったら、保育所から9年ぐらいも一緒にいるのに、「友達のことを全然知らなかったんだなあ。」と思いました。私のクラスは、どちらかと言えば、悪口や陰口が絶えないクラスでした。でも、みんなの家族の話聞くことで、知らなかったことが知れ、みんなとの距離が少し近くなり、みんなのことを好きに思えるようになってきた

ように思います。

友達のことで知らないところや分からないところは、まだまだたくさんあると思います。また、家族のことも、知らないところや分からないところがある気がします。「一番長く一緒にいるのに…」とか思ったりします。でも、いくら長く一緒にいても、やっぱりその人の知らないところは、一つは絶対にあるのだと思いました。だからこそ、人権学習の時間は、大事なのだと思います。私は人権学習を通して、クラスの友達や自分の家族の見方、知らなかった戦争のこと、差別に対する考え方など、たくさんのことを学ぶことができました。学んだことをこれからの人権に生かしていきたいです。あと、命や平和の大切さを考えながら、生きていこうと思います。みなさんも、共に大切に生きていきましょう。ご静聴ありがとうございました。

司会者 ありがとうございます。どうぞ元の席に戻ってください。それではこれから、意見発表を通しての討議にうつりたいと思います。発表についての感想や意見交換、参会者のみなさんの思いを語っていただければと思います。また、マイク係として、板野中学校3年のpさん、大麻中学校2年のqさん、国府中学校2年のrさんの3人がフロアをまわります。なお記録の関係上、発表者は学校名、学年、名前を言ってから発表してください。それではよろしくお願いします。

名和中学校 3年 s 私は、板野中学校の吉本さんの話を聞いて、私もよくテストの点数を友達とかに聞いて、自分より点数が下だった子の点数を聞いてすごいほっとする。そこを改めたいなと思いました。

江府中学校 t 僕もたまに自分より下を見つけて安心してしまいますが、やっぱりそこら辺もやられている人にとったらいけないことだと思うので、直していきたくて思いました。



内浦中学校 1年 u 僕は今さっきの意見発表を聞いて、まず、運動会の時に自分は、予行の時に大縄跳びの練習で初めて外で練習した時に、いつもは勝っていたのに結構ひっかかって負けていて、一人の小学生が、「あかんなあ、これは」みたいな感じで、弱音ばかりをはいていて、その後の休憩の時間に、自分はみんなを集めていろいろ「弱音を吐くな」と言っていたんですけど、中3の先輩とかがいたのに、先輩に相談できなくて、自分になりかかって話していた自分を今振り返ってみると、やっぱり中2がいないので来年は一番上になるのでそこを直して、これからはきつい言葉で言わないで、みんながついてきてもらえる先輩になりたいなと思いました。

屋島中学校 3年 v 周りの人に広げていくっていうことを言っていたんですけど、僕の場合は視野がとても狭くて、自分の世界で物を見てしまうことが多いの

で、これからは視野を広げて、もっと周りの人と関係を築いていきたいなと思いました。

藍住中学校 3年 i 応神中学校の2年の廣永帆乃香さんが言っていた「命の大切さ」ということを聞いて、私も昨年2年生の時に夏休みのときに、クラスメイトだった友達を失ってしまって、その時にその子は、とても生きていたいのにそれなのにそういう水難事故で命を失ってしまって、自殺で死にたいとか思っている人たちもおるかもしれないけど、そういう命を大切にしていってということはとても大切なんだということが、今日もう一度そういう話を聞いて改めて感じました。

藍住中学校 1年 w 僕は、自分の苦手なところとかを友達に悪口っぽく言われたら、それを言い返して、相手の苦手なこととかを悪口にして言うことがあります。小学校4年生の時に、一人の子に悪口を言われて、それを言い返したのが先生の目にとまって、叱られたことがあります。「相手が先に言ってきたから相手の方が悪いだろう。」と言うと、「でも、あなたも言ったでしょ。」と言われ、言い返せなくなり、なんだか損したというかあの時言わなかったらよかったなと思っただけです。今でも悪口を言われると、言い返すくせが治らず、先生に怒られることもよくあります。だからこれからは、言い返さずに、「そんなことを言わんといて」とか、きつくない悪口じゃない言い方で解決していきたいなと思いました。終わります。

江府中学校 3年 x 差別によって、互いが傷つけることなく、支え合って生き

るっていうのは平和で確かにいい世の中だなと思いました。

名和中学校 3年 y 板野中学校の吉本さんの作文を聞いて、差別の加害者にならないためというところで、人権学習をしている人でも知らず知らずのうちに差別の加害者になっているんだなと思いました。

国府中学校 1年 z 少し話戻るんですが、藍住中学校1年生の高田さんの「一人一人を大切に作るクラスに」ってやつで、私も何か自分が苦手なことを「何でそんなんもできんの。」みたいな感じで言われたことがあって、他の友達も同じ人にそういう風に言われたことがあって、それがとても辛かったのを覚えているので、私も人にそうしないように心がけたいと思いました。



藍住中学校 1年 aa 僕は吉本さんの意見を聞いて、僕も「学び、考えて、広げる」っていうことをまず身近な友達から伝えていきたいと思いました。

高浜中学校 2年 ab 「一人一人を大切に作るクラスに」という作文を聞いて、「ほんの少しの勇気をだして、声にだし

て言うことができませんでした。」というところが共感できました。私も「やめようよ。」と言いたいけど、言い返されるかもしれないと思ったりして、言い返せない時がありました。言い返せなかったらいつまでたってもその人がいじめられるかもしれないから、自分の言葉ではっきりと注意したいし、いじめがあつたら、みんなにも注意できるようにしたいと思いました。

板野中学校 3年 ac 私は、吉本朱里ちゃんの作文を聞いて、私は、頭が悪いんでそういうテストとかは私より悪い子はいないと思うんですが、悪い子のを聞いて、ほっとするようなことはないと思うんですが、もしも自分が頭がよかったら、私もそういうちょっと悪い子の点数を聞いたらほっとするような気持ちになるかもしれません。

応神中学校 2年 ad 私は、帆乃香ちゃんと同じクラスなんですけど、私のクラスって全体的にみんながみんな普段仲いいわけじゃあないんですよ。それで、関わりあいがあんまりない子達もいて、特に私は休み時間とかもずっと一人でいて、それで周りの子が仲良しばかりではなくって、それでよく知りもせず、悪口を言われたりとかもあって、そういうのを聞いてると、何でよく知りもしないのに悪口を言ったりするのかと思うようになりました。

藍住中学校 3年 j 私は、廣永さんの作文を聞いて、「戦争は人が始めるけど、戦争を止めることができるのも人」というのを聞いて、これは、現代のいじめにも変えれると思って「いじめは人が始めるけど、いじめを止めることができるの

も人」っていうふうに変えたら、昔も今も似てるなどと思って、私は、いじめを止めることができる人になりたいなど思いました。以上です。

板野中学校 3年 d ちょっと関係ない話かもしれないけれど、ちょっと思いついたので、聞いてください。今年クラスになった男の子がおって、その子何か誰にでもほんまにいちゃもんとかついたりとかして、何か嫌な奴やなあって思ってたんやけど、あるきっかけで連絡とかちょっと話したりするようになって、あれっ優しいし、おもしろいし、ええ奴やんと思ってきて、それと同時にその人のことなんちゃ知らんのに、1点からしかその人のことを見れてなくて、それでなんか嫌な奴やなあとか思って決めつけてしまったから、すごく後悔してるし、反省してるんですよ。ほんで、そこでなんか自分が「あっ、これって偏見やったんや。」って気付けたから、そうやって気付けるんもなんか人権学習をしていく中で知識とかもほうやと思うんやけど、こうやって学習してきたからこそ気付けて、後悔もするし、反省もするし、もしほんまに勇気が出たら、その人にいつか謝れる関係になったりとか、その人がいちゃもんつけよったら、「ほれ、あかんのちゃうん」って「なんかちょっとちがうんちゃう？」って言える関係になりたいと思いました。終わります。

応神中学校 3年 ae 高田さんの作文を聞いて、私のクラスもなんかある一部の男子かもしれないけど、体育の時間とかに女子とかにスポーツ苦手な子とか、誰でも完璧な人とかおらんと思うのに、ある一部の男子が、スポーツが苦手な女子がおって、その子に嫌な言葉とか言った

りしてて、私も何回か注意できた時もあったんですけど、なんでかわかんけど時々しか言えなくて、なんでこの作文を聞いて、私もそうやって言っている男子に注意できてなかったんも私も同罪やなって思って、これからは言っている人がおったら、時々じゃあなくて、言っている人がおったら必ず注意したいと思えます。終わります。

中山中学校 2年 af 吉本さんの話を聞いて、私も「あの人よりはマシだからよかった。」って思う時があるけど、それが差別していると分かったから、これからは下に見ないようにしようと思いました。



中山中学校 2年 ag 高田さんの作文を聞いて、体育祭とかいろんな体育の授業で、遅い子に「遅いなあ。」とか言ったりすることがあったので、言われた方も悲しいと思うし、周りが聞いているみんなも嫌な気持ちになることがわかったので、これからは言わないように気をつけようと思いました。

応神中学校 3年 f 応神中学校の廣永さんの作文の中に「生まれた所が違うからといって、片方はラッキー、もう片方

はアンラッキーでは納得いかない。」という文、これ、共感っていうか、すごい私もそう思うと思いました。だって、部落差別をする側の人間ってその人のことばかりを言うだけで、もし自分がその立場だったらって思ったこと絶対ないと思うんですよ。いつも部落差別を学ぶたびにそう思うことがあって、部落差別を受けてる側の人になったら、部落差別をしている人も何でそんなこというって自分から言うはずなのに、やっぱりそれを考えてもらうには行動していかなきゃいけないんだと思うんですよ。あと、ちょっと話ずれるかもしれないんですけど、アメリカの人種差別って知っている人いますか。できれば手を挙げてほしいんですが。黒人とか白人で差別したことがある。これも歴史で習ったと思うんですけど、白人の人ってだいたいヨーロッパの方から移ってきたと思うんですよ。もともと先住民や黒人の人が差別されるって、これおかしいと思いませんか。もともとその場所で住んでいたはずなのに、後からやってきた人がその人たちを差別するって、すごい変だと思うんですよ。これについてもまた何かあったら教えてください。

藍住中学校 3年 j さっきのfさんの発表を聞いて、差別される人の気持ちになってってことを言っていましたよね。やっぱり、ここに来て差別される人側の気持ちになって考えなあかんっていうこともちゃんと学習したし、その無知をなくしていかなければならないってことも学んできたんですけど、やっぱりまだ自分がその人の立場になったらってことを考えたことが少なくて、やっぱりこれからも差別されてる人の気持ちになって考えられるような人になりたいなと思いま

した。以上です。

藍住中学校 1年 e 僕たちのクラスは、すごい悪口とかそういうのがとても多いです。でも、みんな体育祭とかになったら、みんな団結してリレーとかもみんな精一杯応援して、いつもは悪口とか言よるけど、やっぱりみんないい仲間やなと思いました。終わります。

藍住中学校 3年 i j さんとかも言っていたけど、私も自分では差別してないと思ったのに、いろいろ今考えてみたり話を聞いたりすると、自分もあることを差別していたりとかしたんだなと思ったので、次からはそういうことをちゃんと考えて差別していかないようにしていこうかなと思いました。

板野中学校 3年 ah 私はちょっと話がさかのぼるんですが、iさんが言ったことに反する事じゃないんですけど、私はこの間自殺しようとしたことがあるんですよ。1回家でいろいろあってほん時辛くなって包丁持ってきて自分の手を切ろうと思ってしまったことがあったんですが、今ほれを思い出してみるとすごくはずかしくって、あんまり人前では言いたくなかったんですけど、1つ言えるんは、やっぱり生きとってよかったなと思いました。これからも生きていけたらいいなと思ってます。何事なく幸せに生きていきたいと思います。以上です。ありがとうございました。

応神中学校 2年 ai 板野中学校の吉本さんの作文を聞いて、「自分以下を求める心」は僕にも最近まではありました。でも、最近は「自分以下を求める心」じゃなくて、「自分以上の人をめざす心」で

いって、それとテストの点数も上がった
りして、いいことばかり起こったので
そういう風な考え方をするのもいいと思
いました。

藍住中学校 3年 j さっきのa dちゃ
んのこと聞いて、人から聞いた話なん
ですけど、自殺してしまっても何も変
わらないことがあっても、自分が生
きてて変えられることがきつとある
と思うので、辛いことがあったら、
友達だったからいろいろ話してほ
しいなと思いました。お願いします。

屋島中学校 3年 a j 中1から3年
間同じクラスになった友達がいるん
ですけど、その友達とは仲がよくっ
て、テストとかもよく張り合ってい
るんですけど、その友達がまだ、隠
し事とかしたりして、ちょっと嬉し
くないんで、なんでも語り合える
ような関係を作っていきたいと思
います。



板野中学校 3年 d えっと、a d。言
うんすごく勇気いったと思うし、辛
かったと思うけん、言ってくれてあ
りがとう。なんと、やっぱり1回く
らいさあ、生きてて辛いし、「わあ
もう、生きとるん嫌やな。」って
思うこと、あると思うんやけど、

私の場合は、そう思わせんようにし
てくれるんは物とかじゃなくて、人
やったから、だからまだそういうな
かなかね、静まり返って言えるよ
うな関係じゃあないかもしれん
のやけど、こうやって言うてく
れて、ちょっとでも痛みはあれか
もしれんけど、ちょっとでも楽に
なれたらいいと思うけん、気負
わず気楽にいこうぜみたい
な。終り。

応神中学校 3年 f a dさん、前
僕の友達もいったんですけど、自
殺するんは自分でできるんです
けど、やっぱりその後悲しむ人
がいるんですよ。親戚とか親
とか。自分のお父さんとか。友
達も悲しむと思うんですよ。こ
の後、やけん周りの人のために
生きるんもいいと思います。

藍住中学校 3年 i a dさん。私
も嫌なことがあってそれで一人
でずっと抱え込んで、あるとき
にどうしようどうしようと悩
んでたときに、jさんが話を聞
いてくれたり、もう一人の大
切な友達が話を聞いてくれた
りして、それでそれが家のこ
とだって、自分一人で抱え込
んでjさんが初めて話を聞
いてくれて、それですっきり
したんで、やっぱり友達に話
すっていいことだと思うんで、
頼りないですけどもし何かあ
ったら私にも話してください。

土庄中学校 3年 a k 自殺し
ようとしたっていう話を聞いて、
私もちょっと悩んだことがあ
って、何回か死のうとしたこ
とあるんですけど、中学校に入
って仲良くなった友達とか、小
さい頃からずっと一緒にお
ってくれた友達に相談して、
相談してもなかなか立ち直
れんで、「ほんまにおらんでい
いかな。」とか悩んだこと

あったんですけど、大切な人がずっと「おらんでいいんや。おらんでいいんや。」って自分が言うんを聞いても、離れていかんとずっと相談のってくれて、本当に生きててよかったなって思えるし、1回辛くて悩んでた時期があって、立ち直ったおかげで、周りで悩んでる子おったときにとても力になれたりして、一人でいいなとか思ってた時もあったんで、今は周りの人に支えられてるんで友達とか、おってよかったなと思うんで、やっぱ、一人でも大切やと思う人がおる人は絶対その人に相談することがとても大切だと思って。相談しても無理やったら1回落ち着いて親とかにも話してしっかり悩んでから生きようって思えるようになってほしいです。

国府中学校 2年 a l 話がすごくそれてしまうんですが、板野中学校の吉本さんの作文を聞いて、「自分以下を求める心」は小学校でも道徳でしたのに、中学校になって、勉強の苦手な友達の成績を聞いて、ほっとしてしまったことがあったので、すごくはずかしいことをしていたなと思いました。

板野中学校 3年 a h まず最初に f くんとか j とか d とか私に温かいメッセージをくれてありがとうございます。すごくうれしいです。正直。こんなところでこんな仲間に出会えるとはまったく思ってたなかったし、すごく私も中学校からちょっといろいろあってあまり仲間というものも作れてないんで、でもこうやって言うてくれたんで、すごくうれしいです。私はこんなすばらしい友と出会えたことめっちゃうれしいです。なので私もみんなのメッセージを聞いて、もう自殺しないように頑張って、しないようにしたい

と思います。そしてこれからも頑張って生きたいと思うので、みんな一緒に頑張って生きていきましょう。以上です。

応神中学校 2年 k a hさんの言った「自殺」ってワードにちょっと反応してしまって、私も死にたいと思っている時期があって、えっと今もそんなもんなんですけど。それで一応悩んだりとかもして、それで生きるがいいのか、死んだ方がいいのか、みたいなことをずっと考えている時期があって、それで、どちらを選んだらいいんだろうみたいな感じですけど、それでも、周りで励ましてくれる子とかもいて、それでなんとかかんとか今こんな感じで人権学習に取り組んできて、それで命ってとっても尊いもので、そんな簡単に捨ててはいけないものなんだなってことがよくわかりました。

藍住中学校 3年 j さっき土庄中学校の方が言ってくださったことなんですけど、おらんくてよかった人なんて絶対ないので、辛いことがあったら、周りの友達でもいいし、先生でもいいし、信頼できる人に相談して、絶対自殺なんてしないでください。お願いします。

藍住中学校 3年 a m おばの話になるんですが、今も離婚してて、その元旦那さんが自殺してしまったんです。それで、すごくいつも元気なおばが、すごくその時悲しんでて、もうそれ見るのも嫌だったんで、自殺した方がいいのか、しない方がいいのかとか、そういうのも考えるのも私はやめてほしいです。周りの人の気持ちもすごく考えてほしいです。

藍住中学校 2年 b 自分がいろいろさっきの話とか聞いてて、今までの生きてきた中で一番嫌なこととかいうか、があったんですけど。この間私は、5月頃に3歳からやっていたダンスのバレエをやめたんですけど、なんでやめたかとか、いろいろ聞かれることあるんですけど、今まで誰にも言えなくて、あんまり言えなかったんですけど。自分は、3歳のときに、覚えてないけど自分からクラシックバレエをやりたいってお祖母ちゃんとかに言ってたらしくて、それからタウンページみたいなやつでお母さんがクラシックバレエの教室を片っ端から探して行って、その一個一個端から電話して行ってくれたんですけど、どこも出んかったらしくて、たまたま電話に出て、来てくださ



いみたいな受け入れてくれたのが、今まで通っていたバレエの教室だって、まあそれもなんか偶然やけん、なんかそういう運命みたいなもんだったのかもしれないし、自分に与えられた試練だったんかもしれないけど。そこでちっちゃい時は、もうただ教えられて踊ることが好きだったから、もう続けられてたけど、小学校4年生に一人でダンスを踊るソロで踊るようになったときに、個人レッスンっていうのがあって、先生と1対1で教わるみたいなのがあったときに、先生自身は踊りを教えようと思って言ってくれてるん

だと思うんだけど、その言い方とかがすっごいきつくて、その先生の教育の方針みたいなのが、人を競争させて、上げていくみたいなの育て方だって、自分はそれがちょっと「合っていないな。」と思っただけで、その場所を「やめたいなあ。」って家族で言ってて、5年生の時に1回やめるって先生に言いに行ったら、最初は「やめるんかあ。」みたいなことを言われたんですけど、だんだん先生が怒ってきて、「やめたらアカン。」みたいになってしまって、やめれなかったんですよ。そのまま、どろどろ、どろどろとすっごい嫌な踊るん好きだったはずなのに、もう踊るんも嫌になったときもあったし、周りの一緒に踊っていた人とか先輩の人たちも、なんか自分は先生に怒られてないからって思って、先生によく怒られる私のことをおとしめるというか、仲間に入れてくれなかったり、振付とかも教えてくれなかったこともあって、すごい悲しい思いをして、「なんでこんななんだろうな。」って思って、その時に、自分がここでおらんようになっていたら、なんかこういうのも終わるだろうなあって考えてしまったことがあったけど、この間、もう最後だと思って4月ごろに発表会したんですけど、あったときに、その時も先生に怒られながらだったけど、踊ってよかったなあって思う発表会ができたし、自分の踊りにそこでちょっと満足してしまって、ちょっと強引なやめ方ではあったんですけど、ほんとに5月にもうそのスタジオをもうやめちゃって、でも今は、何もしてないんですけど、やめてよかったなあって思うところもあるし、前はおらんようになっていいかなあと思っただけで、そういう乗り越えさせてくれた環境を家族が作ったり、友達、学校が作ってくれたりしてたから、ほん

とによかったなと思うし、他にもなんか
そういう思いをしてた人がいるって思っ
て、嬉しかったっていうかいろんな考え
が聞けてよかったです。

内浦中学校 1年 u 僕もみなさんの自
殺について話を聞いて、自分も一度部活
の時に部活の後更衣室で先輩に、まあそ
の先輩は去年、転校してきて、なんかえ
らそうに自分はできていないのに、自分
に欠点をばっか押しつけてきて、それの
ときに正直しんどくて、僕のところは、
車で送り迎えをしてもらうところで、車
の中で下校もみんなの列から離れて駆け
出して、車の中で泣き叫んだっていう経
験が一度あってから、目もほとんど見え
んようになったし、ご飯の味も全然しな
くて、夜眠れないぐらいで、一度「いっ
そ死んじゃおうかな」みたいな感じで思
う時が何回かあったんですけど、ある先
生は、「絶対に学校に來い」って言って、
まあその次の日は行ったんですけど、早
退したんですけど、でもその一言があっ
たから今こうして仲間とともにこんな風
に話し合っ、できる場があるし、こう
して幸せに暮らせれるんだなと思うと生
きていてよかったなと思いました。

藍住中学校 3年 i 私も実は、家のこ
とでいろいろあって、自殺をしようと思
いました。それでそんなときに、ほんまに
死のうと思って、マジではさみで手首切
ったりしよったけど、なかなか切れんで、
「何で切れんのん。」とか、辛かったりし
て学校に行くんも嫌になったりしたとき
もあったけど、そんなときは、母さんが出
て行って誰にも相談できんで、嫌だっ、
姉ちゃんとかも話言っても多分わかっ
てくれんだろなと思って、一人で抱え込
んどったら、嫌だったときに、jさんに電

話して、そういうことを全部言ったら、
全部話聞いてくれて、慰めたりしてくれ
て、自分が自殺しようとしたりとかした
ことに「ばかだなあ」と思って、「こんな
いい友達がおるんだったら、もっと生き
たいなあ」と思ったので、これからは、
そういうことを思わずに笑って生きよう
ってみなさんの話を聞いて思いました。

藍住中学校 1年 h さっきのbさんの
発表のことで、先生に厳しく教えられて
たっていうのを聞いて、「なんだか私もそ
んな経験があるな」と思いました。あの
私は、英語の方の塾に通ってるんですけ
ど、小学校1年の頃には先生も優しく
たんですけど、やっぱり中学校にもなる
と少しずつ厳しくなっていって、結構怒
ることもあって、私やっぱり心がちょっ
とすぐにグサッてささっちゃう性格なん
で、ちょっとつらくもなっ、このまま
続けてってもいいのかなあ。」と思っ
たんですけど、私の場合、塾では他の友達
もいてくれて、なんかみんなワイワイ
できてるので、m先輩みたいに個人個人
のあれではなかったんで、まだ先輩より
か和らいでる状態だったんですけど、「や
っぱりなんとなくわかるな。」という感
じがありました。やっぱり、あの、先輩後
輩の間だけど、私もできる限り今度来る
後輩なんかも引っ張っていけるような感
じになりたいなと思いました。

板野中学校 3年 an 私は、1年の時、
友達を大切にしていなかったです。その時
に、1年の半ばぐらいのときにすごい辛
いことがあって、死にたいなあって思っ
たらだめなんだけど、そういうことも思
ったりして。いざ誰かにそのつらい気持
ちになったときに助けてって思っ、た
ときには、もう自分が友達を大切にしてい

かったんで、助けてくれる子はいなかったんですよお。でも、友達がいなくても先生が「自分が友達を大切にできなかつたら、その友達からも大切に思われたい。」と言われて、そこから変わろうと思って、変わって、信頼しあえるような、信頼関係、友達ができて、だから辛いことがあったときに、そういう支え合える友達がいるってことはすごい大切で、かけがえのないことなんだなと思いました。以上です。

国府中学校 1年 z 私の場合は、小学校6年生ぐらいの時に、逆に先生が厳しいというか、なんて言うていいかわかんけど、例えば縄跳びのときとかに、そういう縄跳びとか苦手でなかなかできない人に向かって、「そんなんで足ひっぱとるんやけん、だったら、やめてしまいな」みたいな感じのことを言ってたんですよ。それで、そういうのが苦手な子が何人かいて、他の人にもそんなんを言ってたんで、逆にその友達を「いけるけんな。」って励ましたりして6年生の時に友達との団結が強まったていうのはあります。

藍住中学校 3年 a o 私は小学校4年の時にひどいいじめにあってました。だけど、クラスの友達や先生とかに支えられていじめはなくなりました。だから私は、その友達たちに恩返ししたいです。次は困ったときにその子達の支えになりたいと思います。

大麻中学校 2年 q 僕は幼稚園ぐらいの時に神戸に住んでいて、いじめられていて、言われたらやり返すほうなんですけど、僕は。それで、よくケンカをしていて、母によく叱られて、傷とか、けが

いっぱいして、だいたい僕も反抗していたらいじめとかがなくなっていたんで、それはそれでよかったなと思いました。

藍住中学校 1年 e 僕は、6年生の時に、とても「お前にはできんわ。」とかそういうできるかもしれないのに、そう決めつけて、人を傷つけてしまうような先生がいて、それで、その先生はみんなからも嫌われていて、ほんなズバズバ、ズバズバ言いよって、むっっちゃ蔭口とかいよって、怒られよるときも、ほんな気にせんと、言い返したりもしよったんやけど、でもやっぱりみんなが卒業式の時とかは、卒業式の練習の時にも真剣にやってくれよったし、卒業式でも泣きよったけん、僕たちのことをちゃんと考えてくれよったんかなあって思って、ちょっと申し訳ない気持ちになったりしました。終了です。



応神中学校 3年 a e 廣永さんの作文にもあったんですけど、「部落差別って何だろう」って私も思ったことがあって、私の家族のここの話なんですけど、私の父が部落の地域で生まれて、私の母が、部落以外の地域で生まれた人で、2人が結婚して、結婚したんはいいけど、今でも時々部落差別のことについての話がで

たりして、なんか私の父は、私の母に「差別された気持ちとか、お前にはわからんだろ。」ってお母さんに言って、なんかお母さんに逆差別みたいな感じで、お母さんに言って、お母さんは「そんなことないよ。」って言うてるんですけど、お父さんがなかなか今でもお母さんを憎むようなことを言ったりして、私は、お父さんはちっちゃいときに、いろいろ友達とかから部落差別受けて、私は今だったら、私は部落差別とか受けたことはないんですけど、でも父は受けてたので、私は父の気持ちは分からないかもしれんけど、人を憎んだりしてたら廣永さんの作文にもあったように、「片方はラッキー」とか「もう片方は、アンラッキーでは納得いかない」というところで、それだったら両方がアンラッキーのまま、そのまま解決せんと思って、部落差別を解決するんだったら、部落差別をするんは、する方が悪いと思うけど、された側の人その相手を憎むんが多分部落差別がなくならん理由の一つかもしれないって私は思います。終わります。



大麻中学校 2年 q 質問なんですけど、部落差別はどうなればなくなると思えますか。みなさんは、どう考えますか。

藍住中学校 3年 j q 君の意見にちょっと答えるじゃないですけど、自分の意見を言うと、人が人に部落差別のことを教えて、みんなが部落差別のことを知っていったら、もちろんなくしていったら部落差別はなくなると思います。

応神中学校 3年 f 部落差別とか差別って固定概念？人が持つとるそのそれはそれなんだっていう、ニュースで例えば、「〇〇が□□でどうあった」というんがあったら、人はそれだけでしか思っていないとか、あると思うんですよ。それを一人一人からなくしていったら、固定概念なくしていったら、差別とか部落差別もなくなると思います。

板野中学校 1年 ap 私この前、今月に母に私の住んでいる板野とかは部落だったんだよって言われて、自分が住んでいる地域なのにそんなことも知らなかったんやって思って、自分に情けない気持ちになったので、これからもっと部落差別について学んで自分の住んでる地域のこともしっかりと知っていきたいなと思いました。

応神中学校 2年 k q 君の質問で、部落差別は、その土地にずっと住んでるってそれで差別を受けるんだったら、どうして部落差別がおこったのかっていうことを一人一人が学んでそれで深く考えていったら部落差別は少しずつなくなっていくと思います。

藍住中学校 3年 i 今でもちょっと部落差別が私は残っているような気がして、なんかダウン症とかそういう障がいをもっている子はなんか見たことがあるんですけど、見下しとるような感じの人

たちがあって、私の弟もそういう病気なんですけど、前一緒に小学校の時に、帰っていたときに、狭い道路で小学校の子がおったら、「うわあ、あいつ何。なんか変なやつ。」みたいな感じで自分見下しするような感じがあったので、そういう人が人を見下したりしていたら部落差別はなくならないと思います。

応神中学校 2年 k 思ったんですけど、障がい者差別のことで、障がいがある人って差別とか受けたりとかもして。とても優しい人たちばかりなんですけど、何で障がい者の人は差別を受けるんだと思いますか。みなさんはどう思いますか。

藍住中学校 3年 j 障がい者の人が、人から差別を受けるのは、聞いたことがあるんですけど、「人は自分と違うものを見ると、それを何だろう。自分の世界っていったらあれなんですけど、自分が思ってる生きてる世界とは違うものとして見てしまうことがある」というのを聞いた事があって、だから、ちょっと自分の世界に入れたくないみたいな感じで差別してしまうんじゃないかなって思います。

藍住中学校 3年 i kさんが言っていたように、差別するのは、みんな普通にしゃべったり、普通にしているのに、その子たちにはしゃべっていても分からないとか、そういうのがあるんですよ。だから、「何、この人たち、しゃべれんでえ」みたいな。それで、「なんか、もう近づくんやめとこう。」とか、そういうのを思うから、そういう差別があるのかなあっていうのを思います。

藍住中学校 1年 e 障がい者の人が、差別されるのは、さっきのjさんが言っていたように、やっぱり普通の人と違うところがあって、それを面白がって「お前はおれたちとは違うところがあるけん、一緒にしてほしくない。」とか、そういう心があるから差別されるんだと思います。終わります。

中山中学校 2年 ag さっきの子が言ったのとちょっと似てるんですけど、多分障がいのない子というか、自分たちみたいな人は、多分、障がい者のある子を見て、自分たちよりも劣っているから下に見て、差別とかするんだと思います。

板野中学校 1年 aq 障がい者差別があるのは、吉本先輩が言ってたように、自分以下を求める心とかがあるからだと思います。以上です。

名和中学校 3年 s さっき藍住中学校の男の子が言ったものに、「普通の」という言葉があったんですけど、みなさんに聞くんですけど、「普通」という基準はどこにあるんですか。

応神中学校 2年 k 「普通」の基準は、特に定まなくて、たいていの方は自分を基準にして「普通」を決めているんだと思うんですよ。ただ、自分を基準にしたら、自分よりいい子悪い子が平均的に普通って思える人だったとしても、自分を「普通」にしてしまうと、自分と違う人が多くなったりとか、自分より下の人を見下したりとかがよくあるようになってしまうので、「普通」の基準をもうちょっと幅広く決めていけたらいいんだと私は思います。

応神中学校 2年 a i さっき、kさんが言った分に反論するみたいになるんですけど、「普通」の範囲を広げるんじゃないくて、「普通」という基準をなくしたらいいと思います。「普通」っていうことを、みんなを「普通」っていうか、すみません。よくわからないですけど……。終わります。

藍住中学校 3年 i みなさんは、障がい者の人たちのことをどう思っていますか。意見聞かせてください。

応神中学校 2年 k さっき a i 君が言ってくれた「普通」の基準をなくせばいいって言うてくれたんだと思うんですけど、「普通」の基準はどうしても人、一人一人決めてしまうんだと思うんですよ。「普通」って。差別があるってことは。一人一人が勝手に「普通」っていう基準を決めてるんだと思うんですよ。だから、「普通」っていう基準をなくすじゃなくて、「普通」っていう基準で周りの人と自分とか、自分の勝手に決めた基準と周りの人を比べなかつたらいいと思うんですよ。私は。それをできるように、ここに集まっているような人はしていったらいいと思います。

名和中学校 3年 s 一つ戻るんですけど、私の周りにも障がい者の方はいるんですけど、私はそんなに私たちみたいな人とあまり変わりはないから、だから一般的な人としか見てません。終わります。

中山中学校 2年 a q 障がい者の人のことをどう思っているかという質問があって、自分は家族が、妹がちょっと知的障がいがあって、そういう観念から見てしまうんですけど、でも何にも普通の人

と変わりがないから、普通に接していけるとと思います。終わり。

司会者 まだまだ発表はあると思いますが、このあたりで午後の部 I の話し合いを終了し、10分間の休憩をとりたいと思います。10分後には、元の席に戻ってきてください。

高浜中学校の人が、帰るので、挨拶もらって休憩してください。高浜中学校の人、挨拶をお願いします。

高浜中学校 私たちはもう帰ってしましますが、今回こういうところに来て、部落差別とかで家族の大切さも知れたし、みんながそれぞれ意見言い合ってたところがいいなと思いました。また、来ればここに来年も来たいなと思います。今日はありがとうございました。

